

高野山大学 連続講座

会場：高野山大学難波サテライト

各講座30名
事前申込制・先着順

お問い合わせ・お申し込みは
8月22日(火)から受付開始

平成29年9月4日(月)～9月22日(金)

【受講料】1講座 (90分×2回) 4,000円

※ただし以前の連続講座受講者の中で修了証をお持ちの方は全講座500円引

- 講座① 後醍醐天皇と高野山
坂口太郎(高野山大学助教) 《開講日9/4(月)》
- 講座② 『金剛頂経』におけるシヴァ神
徳重弘志(高野山大学非常勤講師) 《開講日9/5(火)》
- 講座③ 弘法大師の密教を読む - 密教思想と文学表現 -
高柳健太郎(高野山大学非常勤講師) 《開講日9/6(水)》
- 講座④ 心身の合一 - 自己のいのちと丁寧に向き合う -
森崎雅好(高野山大学准教授) 《開講日9/11(月)》
- 講座⑤ 弘法大師空海の生涯 - 『性霊集』からたどる入唐後の軌跡 -
櫻木 潤(高野山大学助教) 《開講日9/12(火)》
- 講座⑥ 高野山の歴史と信仰 - 修禪の道場から大師信仰の聖地へ -
櫻木 潤(高野山大学助教) 《開講日9/19(火)》
- 講座⑦ 弘法大師と中国文学
高柳健太郎(高野山大学非常勤講師) 《開講日9/21(木)》
- 講座⑧ マンダラにおける異教の神々
徳重弘志(高野山大学非常勤講師) 《開講日9/22(金)》

《会場》《お問い合わせ・お申し込み先》
高野山大学 難波サテライト

〒556-0011

大阪市浪速区難波中1-10-4 南海野村ビル7階

TEL 06-4301-7843 / FAX 06-4301-7893

E-mail seminar@koyasan-u.ac.jp

<http://www.koyasan-u.ac.jp>

☆アクセス

- 南海電鉄線「なんば」駅北出口 徒歩3分
- 地下鉄御堂筋線・千日前線「なんば」駅6番出口 徒歩1分
- 地下鉄四つ橋線「なんば」駅31番出口 徒歩2分
- 近鉄線「大阪難波」駅6番出口 徒歩1分



高野山大学 連続講座 概要・日程一覧

開講期間 平成29年9月4日(月)～9月22日(金)

【受講料】1講座(90分×2回)4,000円 ※ただし以前の連続講座受講者の中で修了証をお持ちの方は全講座500円引

講座①

《テーマ》後醍醐天皇と高野山

講師 坂口 太郎 定員 30名

鎌倉時代から南北朝時代にかけて活躍した後醍醐天皇は、真言密教に対する関心が深く、弘法大師空海に熱烈な信仰を抱いたことで知られています。後醍醐が保護した真言寺院は多いですが、その一つに高野山金剛峯寺がありました。高野山が、後醍醐の帰依を受けたことは、その発展に大きく寄与しました。本講座では、後醍醐と高野山の関係について検討します。

日程 第1回 9/4(月) 11:00～12:30 第2回 9/4(月) 13:20～14:50

講座③

《テーマ》弘法大師の密教を読むー密教思想と文学表現ー

講師 高柳 健太郎 定員 30名

日本に密教を伝えた僧侶、真言宗の開祖でもある弘法大師空海は、宗教者、思想家であると同時に平安時代を代表する文学者としても知られています。しかし、この二面はかならずしも別々のものではありません。というも、「如来の説法は必ず文字による(『声字実相義』)」という空海の言葉の通り、空海の教え、空海の実践は文字によって表現されているからです。言い換えれば、その教え・思想とその文学とは、切っても切れない関係なのです。この講座では、とくに入唐前後の空海の著作を丁寧に読み解くことで、その表現に込められた密教の意味を考えてみたいと思います。

日程 第1回 9/6(水) 13:20～14:50 第2回 9/6(水) 15:00～16:30

講座⑤

《テーマ》弘法大師空海の生涯ー『性霊集』からたどる入唐後の軌跡ー

講師 櫻木 潤 定員 30名

唐から密教を請来し、日本の仏教に新たな潮流をもたらした弘法大師空海の生涯を、歴史学の視点からたどることによって、その日本史上の意義について考えます。空海は数多くの著作を残していますが、弟子の真済によって編まれた『遍照發揮性霊集(性霊集)』は、空海の生涯の軌跡をリアルに伝えるだけでなく、当時の政治や社会の動向を知る上で貴重な歴史史料でもあります。本講座では、『性霊集』をもとに、弘法大師空海の唐から帰国後の軌跡をさぐってみたいと思います。

日程 第1回 9/12(火) 13:20～14:50 第2回 9/12(火) 15:00～16:30

講座⑦

《テーマ》弘法大師と中国文学

講師 高柳 健太郎 定員 30名

漢文の解釈においては、単純な言葉の意味以上に、その言葉の語感、いわばニュアンスをつかむことが重要です。そして、それをつかむためには、その言葉がこれまでどのように使われてきたのかを知る必要があります。このことは、当然、空海の記事にも言えることです。本講座では、空海の著作をより深く理解するために、そこに見られる言葉にどのような来歴があるのか、その来歴が空海の実践とどのように関わるのか、を解説します。空海の手帳を覗いてみましょう。

日程 第1回 9/21(木) 13:20～14:50 第2回 9/21(木) 15:00～16:30

講座②

《テーマ》『金剛頂経』におけるシヴァ神

講師 徳重 弘志 定員 30名

インドで密教が盛んだった時代は、ヒンドゥー教が隆盛した時代でもあります。そのため、密教経典には、ヒンドゥー教の神々を打倒するという物語が記されています。それらの中でも、真言宗で重視されている『金剛頂経』では、シヴァ神の調伏がメインテーマの一つとなっております。本講座では、仏教側の資料(経典、図像)と、ヒンドゥー教側の資料(聖典、絵画、石像)の両方を用いて、シヴァ神の姿や神話について学びます。

日程 第1回 9/5(火) 13:20～14:50 第2回 9/5(火) 15:00～16:30

講座④

《テーマ》心身の合一ー自己のいのちと丁寧に向き合うー

講師 森崎 雅好 定員 30名

弘法大師は「即身成仏」を説かれました。「即心」ではなく、「即身」とされたのは、私たちが寿命のかぎり、「こころ」と「からだ」を使って動き続けるいのちある生き物であることを重視されていたからではないかと思えます。本講座では、心身の調和を目的とした新しい心理療法である「動作療法」を体験していただき、臨床心理学と真言密教の教えを織り交ぜながら自己のいのちと丁寧に向き合う方法を学びます。

日程 第1回 9/11(月) 13:20～14:50 第2回 9/11(月) 15:00～16:30

講座⑥

《テーマ》高野山の歴史と信仰ー修禪の道場から大師信仰の聖地へー

講師 櫻木 潤 定員 30名

弘仁7年(816)に弘法大師空海によって真言密教の「修禪の道場」として開創された高野山は、1200年を経た現在でもその伝統が受け継がれ、多くの人びとを魅了しています。その長い歴史にあって、盛衰を繰り返しながらも、時代の求めに応じて幾多の変容を遂げてきた高野山のあゆみを、18世紀に編み込まれた『高野春秋』を紐解きながらたどることによって、その魅力をさぐりたいと思います。

日程 第1回 9/19(火) 13:20～14:50 第2回 9/19(火) 15:00～16:30

講座⑧

《テーマ》マンダラにおける異教の神々

講師 徳重 弘志 定員 30名

密教における最大の特徴の一つは、「マンダラ」と呼ばれる様々な仏が描かれた図像です。密教では、多様な経典に基づき、多数のマンダラが作図されてきました。それらの中でも、真言宗で重視されている『大日経』のマンダラには、仏教以外の宗教(バラモン教・ヒンドゥー教)の神々も登場しています。本講座では、仏教側の資料(経典、マンダラ)と、異教側の資料(聖典、絵画、石像)の両方を用いて、『大日経』に登場する異教の神々の姿や神話について学びます。

日程 第1回 9/22(金) 13:20～14:50 第2回 9/22(金) 15:00～16:30

《お問い合わせ・お申し込み先》

※お申し込み・お問い合わせは
8月22日(火)から受付開始



高野山大学

難波サテライト 連続講座係

〒556-0011 大阪市浪速区難波中1-10-4 南海野村ビル7階

TEL 06-4301-7843 / FAX 06-4301-7893

E-mail seminar@koyasan-u.ac.jp http://www.koyasan-u.ac.jp

(キリトリ線)

お申し込み～受講の手順

①郵送または高野山大学HPよりお申し込みください。

本チラシの連続講座申込書を切り取り、必要事項をご記入のうえ、封筒に入れ、申し込み先宛で郵送していただくか、本学のホームページにアクセスし、高野山大学連続講座の申込フォームに必要事項をご入力いただき、送信してください。

高野山大学HP <http://www.koyasan-u.ac.jp>

高野山大学

②受講票をお送りします。

お申し込み確認後、本学より受講票を発送します。当日は受講票を必ずお持ち下さい。

③受講料は各講座参加時にお支払いください。

当日、受付にて受講票を確認させていただきます。受講料は受付にてお支払いをお願いします。

連続講座参加申込書 ご参加ご希望の方は、下欄に必要事項をご記入のうえ、郵送ください。

フリガナ	
ご 芳 名	
〒	-
ご 住 所	
電話番号	自宅・会社・携帯
メー ル アドレス	自宅・会社・携帯
前回の修了証をお持ちの方は右の欄に✓印をつけて下さい。	

◎上記講義テーマ・日時をご確認の上、受講ご希望の回へ○印をつけてください。

講座①	
講座②	
講座③	
講座④	
講座⑤	
講座⑥	
講座⑦	
講座⑧	

※FAXでのお申し込みは、送受信のトラブル防止のため、受付いたしません。ご了承下さい。